



WWF® *for a living planet*®

生物多様性条約とエコロジカル・フットプリント -CBDCOP10に向けた日本の可能性-

2010年8月26日

WWFジャパン自然保護室長

岡安 直比





WWF® for a living planet®

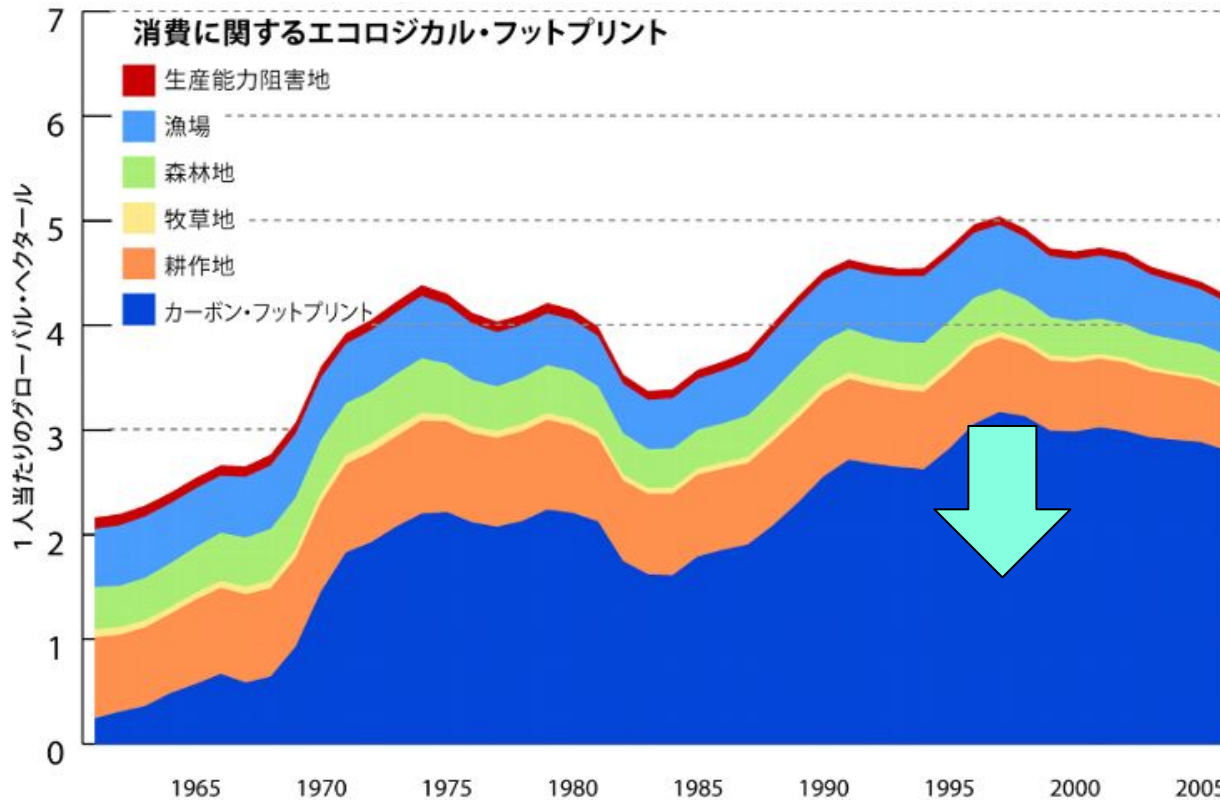
エコロジカル・フットプリントの位置づけ

- **CBD**では、**2010年目標4.2**「生物資源の非持続的な消費、あるいは生物多様性に影響を与える消費の減少」の**指標**として、エコロジカル・フットプリントを導入(第8回締約国会議(2006)の決議DecisionVIII/15)
- **日本**はいち早く**環境指標としての導入**を表明(2006年4月7日閣議決定)
- 2010年5月、**日本版生物多様性総合評価**にて、指標の一つに採用(ただし、**参考程度**)





今回の報告書から読み取れる日本の のエコロジカル・フットプリントの動向



(C)WWFジャパン、GFN

- ・ '80年代の低EF社会 = 生活水準も安定、利益の再分配も順調

- ・ バブルで経済・産業構造が変化 = 流通の適正化で対応可能

- ・ 例えば、カーボン・フットプリント削減可能性 >50%





日本のシナリオ

- 1人当たりの消費量削減
 - うち30%は廃棄!! = 流通構造の再構築 = 無駄の削減ポテンシャル
- 生物生産力 – 強度
国の中を見直そう!!
- カーボン・フットプリントの削減による低炭素社会
- かつ、生物多様性保全にも貢献する包括的環境施策

図版出典“Our Ecological Footprint: Reducing Human Impact on the Earth” (New Society Pub 1995)





エコロジカル・フットプリントから見た 現在の世界



(C)WWF, GFN





日本の消費が世界の生物多様性に繋がる ...生かすも殺すも責任は重大

